Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報

キララまつり　山車競演

会長 稲野邉 穣　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波
TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋 1-2-6 金塚ビル 3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

地区 HP　地区行事予定

2018 年 8 月 7 日　5 号
2018 年 7 月 31 日　第 5 例会報告

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．ロータリーソング斉唱
（奉仕の理想）
3．幹事報告　高 野 幹 事
4．委員会報告
5．ニコニコボックス発表　塚﨑副ＳＡＡ
6．出席状況報告　出席委員会
7．新会員卓話
「建築家　村野藤吾」　井坂公一会員
8．点　　鐘　稲野邉会長
9．ロータリーソング斉唱
（４つのテスト）

本日のプログラム
2017-18 年度決算，2018-19 年度予算についての全員協議会になります。その後，インターアクト台湾研修報告がございます。

次週のプログラム
８月 14 日(火)は，休会。21 日(火)の例会は，新会員卓話（大山和美会員，山内昌美会員）でございます。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3 名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	75	7	81.52	2	3・6・7・8	7	89.13

【委員会報告】

ゴルフ同好会　　今　泉　孝　之　会員

８月 30 日(木)　霞ヶ浦国際ゴルフコースにて開催を予定しています。
各テーブルに，出席のご案内を置いています。パーティーは，昨年の会長の溝口さんの牛角で行いますので，今年度の出席委員，親睦委員の方も含めて楽しくやりたいと思いますので，宜しくお願い致します。

公共イメージ・ＩＴ委員会　　齊　田　克　史　委員長

2018-19 年度も，始まって１ヶ月経ちました。土浦南ロータリークラブのホームページを今年度バージョンにリニューアルいたしました。会長挨拶，委員会組織図など，新しいものに更新しています。週報も３号まではアップしました。この後も順次新しい号が出るたびにアップしていきますので，皆さん，ぜひご覧になってください。宜しくお願い致します。

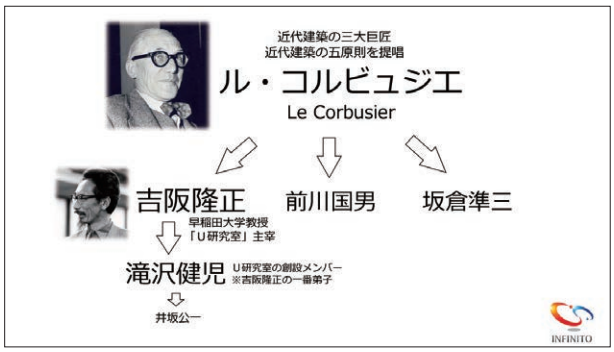
ローターアクト委員会　　木　村　英　明　委員長

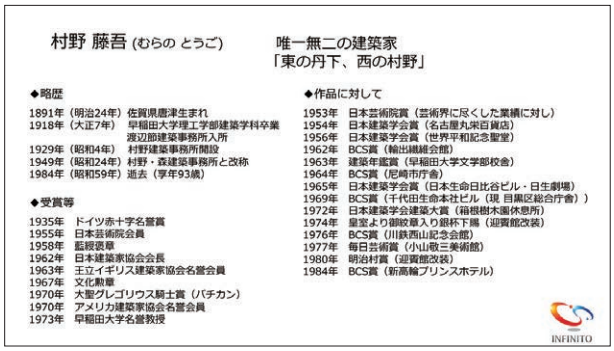
８月４日・５日のキララ祭りに，ローターアクトで例年通り出店させて頂きます。
今年は場所が変わりまして，来栖さんのご厚意により平喜園さんの駐車場をお借りします。皆さん，じゃんじゃんお金を遣いに来てください。宜しくお願いします。
（追加報告）
８月の第１例会が８月２日(木)８時より，土浦市生涯学習館にて行われます。お時間が許す方は是非ともご参加をお願い致します。

【新会員卓話】

建築家　村野藤吾　　井　坂　公　一　会員

本日は,新会員卓話ということでご指名を頂きました井坂でございます。
卓話として何をお話していいのか考えましたが，何分，皆さまにとって実利となるようなお話を持ち合わせておりませんので，私の仕事の関係のお話をさせていただきます。
村野藤吾という建築家のお話をさせて頂きます。殆どの皆さんは聞いたことがない名前かと思います。丹下健三という建築家はご存じかと思いますが，丹下健三と同時代に活躍した建築家で,「東の丹下，西の村野」とまで言われた建築家です。日本芸術院会員で文化勲章受章者でもあり，日本の建築史の中でも唯一無二の偉大な建築家です。では，映像を使って説明させて頂きます。





主な作品

宇部市民館(1937)
※重要文化財

広島世界平和記念聖堂(1953)
※戦後建築物として初の重要文化財

関西大学 簡文館(1955)
※登録有形文化財

主な作品

読売会館 (1957)
(旧 有楽町そごう百貨店)

大阪新歌舞伎座(1958)

横浜市庁舎(1959)

主な作品

都ホテル(1960)
(現 ウェスティン都ホテル京都)

日本生命日比谷ビル(1963)
(日生劇場)

主な作品

甲南女子大学(1964~)

宝塚カトリック教会(1966)

千代田生命本社ビル(1966)
(現 目黒区総合庁舎)

主な作品

日本興業銀行本店(1974)

志摩観光ホテル(1969)

日本ルーテル神学大学(1969)

主な作品

迎賓館(1974)
(旧 赤坂離宮改修)

箱根樹木園休息所(1971)

小山敬三美術館(1969)

主な作品

川鉄西山記念会館(1975)

八ヶ岳美術館(1979)

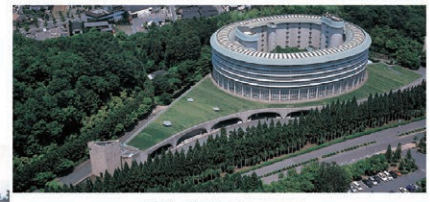
箱根プリンスホテル(1978)

主な作品

新高輪プリンスホテル(1982)
(現 グランドプリンスホテル新高輪)

主な作品

宝塚市庁舎(1980)



京都宝ヶ池プリンスホテル(1986)
(現 グランドプリンスホテル京都)

谷村美術館(1983)

主な作品（和風建築）

富田屋(1957)
現 湯豆腐の名店「嵯峨野」
昭和36年道頓堀から嵐山へ移築

佐伯邸(1964)
現 松伯美術館

主な作品（和風建築）

指月亭(1959)

東光庵(1970)
（帝国ホテル茶室）

なだ万本店山茶花荘(1975)
※ホテルニューオータニ庭園内

主な作品（和風建築）

恵庵(1982)
（新高輪プリンス茶室）

秀明(1982)
（新高輪プリンス茶室）

佳水園(1960)
（ウェスティン都ホテル京都 和風別館）

主な作品（和風建築）

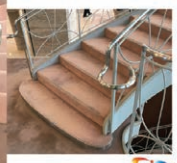
三養荘(1988) ※プリンスホテル＆リゾーツ

- 村野藤吾数寄屋の集大成
- 村野藤吾が技と粋を極めた数寄屋造りの傑作

村野藤吾の階段 ～階段の魔術師～

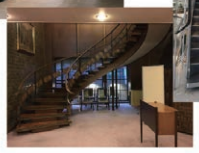
階段そのものがひとつの芸術作品
研ぎ澄まされた造形
軽やかで繊細で優雅な階段
「音楽の旋律のように美しい」

村野藤吾の階段



村野藤吾の階段

村野藤吾の階段



村野藤吾語録

村野藤吾はその華麗な設計活動に比して、理論や言説により建築界をリードしようとする試みはほとんどしていない。作品制作そのものに全精力を傾けているといってよいであろう。したがって折にふれる言葉や自作品の説明の端々から、その建築思想を読み取るほかない。語られる言葉は平易であるが、内容は感覚の世界から経済原則までの多岐にわたり、かつ含蓄に富んでいる。そして一見矛盾すると思われるような言葉の背後には、厳然とした人間中心の思想、あるいは哲学が通底しているのである。

「私がいつも考えておりますことは、建築と人間との関係ということです。技術として空間の美しさを出すのは、手法にしても、材料の選び方、扱い方にしてもそう難しくないのですが、それから先の問題ですね。これが非常に難しい。困難な修練を要することだと私は思っています。職人芸といったものの大切さもそこのあると思いますね。今日はなんでもインスタントですが、手が伴わずに頭だけでやるということは、危険ですね。」
（新建築6605）

「広島世界平和聖堂のときも私は、「設計が終わったからといって、このままが私の設計ではありません。10年先が私の設計です。」といって渡したわけです。」
（新建築7401）

99%関係者の話を聞き、残りの1%から出発する。それでも村野は残る。

「時折、私の仕事を村野数寄屋と呼ぶ人がいる。とんでもないことで、私に、そんなものができるはずがない。依頼者あっての設計であるから、勝手にできるわけがない。依頼者の意向に添うことは当然であるが、しかし、先方の意向に添い、また、十分話し合いができて納得づくで設計しても、村野に頼んだ以上最後の1%は村野が残る。その1%が、時として全体に影響を及ぼすかもしれないので、いくら慎重であっても慎重すぎることはないと思う。それを、はじから村野の設計だと思い込むことには少し危険が伴うのでそこは謙虚でありたいものである。」
（村野藤吾和風建築集）

村野藤吾語録

「私は日本建築について特別に学んだことはない。学校で教わった程度である。すべて見よう見まねで覚えたようなもので、……（中略）……私にいくらか日本建築について、もし私流という言葉を許していただけるなら、自己流の道を模索する糸口のようなものを与えてくれたのは泉岡さんではなかったかと思う。次に泉岡語録の二、三を紹介しよう。

一、玄関を大きくするな。門戸を張るな。
一、外からは小さく低く、中に這い入るほど広く、高くすること。
一、天井の高さは七尺五寸を限度と思え。それ以上は料理屋か、功成り名を遂げた人の表現になるので普通でない。
一、柱の太さは三寸角。それ以上になると面取りで加減したり、ごひら（長方形）にする。
一、窓の高さは二尺四寸。風呂先用風の高さが標準。
一、縁側の柱は一間まに建て、桁に無理させぬこと。これで充分日本風になる筈である。
一、人の目につかぬところ、人に気付かれぬところ程、仕事を大切にして金をかけること。
一、腕の良さを見せようとするな。技を殺せ。

まだあるが、ざっとこの程度である。……（中略）……控えめなところがあり、何でも表わそう、訴えようとするのとは味が違う。蓋し、日本建築の神髄にふれた言葉ではないかと思う。」
（村野藤吾和風建築集）

作家・井上靖氏は、村野藤吾を「『きれい寂び』を身につけた人だ」と評しました。

※きれい寂び：茶道の世界の言葉で、
華やかなうちにも寂びのある風情
また寂びの理念の華麗な局面をいう。

佳水園（ウェスティン都ホテル京都 別館）

日本伝統の数寄屋造りの典型を踏襲しつつ、モダニズムが織り込まれた、
戦後の数寄屋造り建築の傑作としても知られている。

醍醐寺三宝院の庭（酒づくしの庭）を模したという中庭
瓢箪徳利と盃

佳水園（ウェスティン都ホテル京都 別館）

本館からのアプローチ

檜皮葺の門

数寄屋大工 中村外二の施工

佳水園（ウェスティン都ホテル京都 別館）

庭

庭師 小川白鵬の作

玄関

ロビーから中庭を望む

箱根プリンスホテル（現 ザ・プリンス箱根芦ノ湖）

- 国立公園内、芦ノ湖東岸に建つリゾートホテル
- 玄関棟、ロビー棟、会議場棟、円環状の客室棟2棟が、樹木を一切伐採することなく配置
- 自然景観への調和と対比、またその中での建築空間自体のドラマチックな演出、といった難しい条件に挑戦し、見事成功している

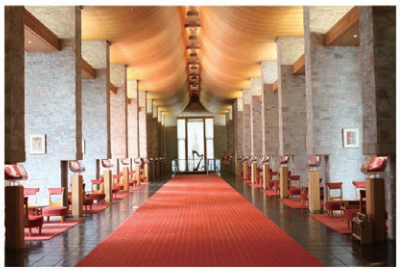
箱根プリンスホテル（現 ザ・プリンス箱根芦ノ湖）

エントランス

フロント

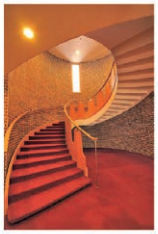
エントランス

箱根プリンスホテル（現 ザ・プリンス箱根芦ノ湖）



箱根プリンスホテル（現 ザ・プリンス箱根芦ノ湖）

箱根プリンスホテル（現 ザ・プリンス箱根芦ノ湖）



階段1

レンガタイルの壁⇔木製の手すり

階段2

木製の壁⇔ステンレスの繊細な手すり

箱根プリンスホテル（現 ザ・プリンス箱根芦ノ湖）

メインダイニング

お面型のシャンデリア

箱根プリンスホテル（現 ザ・プリンス箱根芦ノ湖）

カフェレストラン

馬形のシャンデリア

箱根プリンスホテル（現 ザ・プリンス箱根芦ノ湖）

【家庭集会】 ～職業奉仕，社会奉仕，青少年奉仕，国際奉仕，財団，米山委員会～

於：うまい家

家庭集会について

片　岡　信　彦　パストガバナー

家庭集会では毎年挨拶させて頂いております。

これから話す内容は2680地区の田中毅パストガバナーのホームページにロータリーの源流というものがありその中の炉辺談話からの引用です。家庭集会は1935年にシカゴRCで新会員にロータリー情報を提供するために始められたものです。

シカゴ郊外に引っ越してきた新しい会員がその地域にいたロータリアンを自宅に招き，新しい大きな暖炉の燃えさかる炎の前に，いすを運び談笑しました。多くの椅子を運ぶ手間はかかりましたが，幸せな夕べでした。そしてそのときシカゴから来ていたゲストが今度はシカゴの彼の家で近隣のロータリアンを招いて会合を開きました。その頃彼らはその会合をファイヤーサイドミーティング炉辺会合と呼んでいました。この会合をシカゴロータリークラブが取り入れそれが世界中に発展し1964年土浦南RCが結成された年には25000回にも及ぶ炉辺会合が世界中で開催されたようです。その後各家庭に暖炉がなくなりましたのでファミリーミーティング家庭集会，情報集会と名前を変えて開催されてきました。私が入会した35年前には外部での食事が所得に比べ割高でしたので自宅持ち回りの会食が中心でした。しかし安価な焼鳥屋さんなどが開店し私たちの先輩が月に1，2回集まる機会を設けてくれました。

今では所得の伸びとともにレストラン居酒屋など会合に適した店が続々と作られましたので家庭での集会も少なくなり情報集会と言われるようになりました。最近の手続き要覧ではこの情報集会も削られました。インターネットで調べますと家庭集会をやっているクラブはたくさんあります。私たちロータリアンに役に立つなら手続き要覧になくても続けていくべきだと思っています。

先々週ロータリー財団の100周年記念誌が送られてきました。300ページほどの本ですがその8章9章に40ページにわたりロータリー最良の時，ポリオプラス：世界を舞台に活躍するロータリーという記事がありました。

世界各地のロータリアンは1979年頃からフィリピン，ガンビア，ハイチなどでポリオワクチンの投与を行ってきました。1985年から国際ロータリー理事会では様々な検討を行いロータリーの100周年2005年までに世界からポリオをなくそうとの決断をしていました。1988年のフィラデルフィアでの国際大会の開催中世界保健機構（WHO）からケラー会長に緊急の電話がありポリオについて抑制から撲滅にしてほしいとの要請がありケラー会長が理事会に諮り同意する旨を明確に伝えたことから始まりました。この重要な決定こそロータリー，世界保健機構，米国疾病対策センター，ユニセフが中心となって進める世界ポリオ撲滅推進活動の始まりです。1988年当時世界には毎年30万人の小児麻痺患者が発生していました。ロータリーは資金面を担うと言うことで第1段階として寄付を募りました。当時ワクチン投与資金として20年間で1億2千万ドルが目標でしたが3年間で遙かに超えた2億4千700万ドルの募金が集まりました。土浦南RCもポリオ募金特別委員会を設置し高橋信子会員のお父さん高橋安次会員が委員長となり一人2万8千円の割り当てで，2年間で達成しております。

先に資金が集まりましたので第1段階としては世界的な予防接種をするため責任者が60カ国を訪問しWHO，ユニセフ，米国疾病対策センターの高官と連携を図りました。1990年までにアメリカ大陸からポリオ患者を撲滅するという目標を掲げ同時に多くの国で予防接種が実施されました。

1994年9月にアメリカ大陸ではポリオフリー（ポリオのない国）が宣言されました。この宣言の大きな意義は，ポリオは抑制ではなく撲滅が可能であることが証明されたことです。これで勢いがつきポリオが存在する欧州，アジア，アフリカで予防接種活動を倍増させました。ところで内戦の続くアフリカ大陸でどうしてワクチン投与が出来たのでしょうか。それは南アフリカ共和国のマンデラ大統領のリーダーシップでした。いち早くポリオフリーを経験したマンデラ大統領がアフリカ各国の大統領にポリオ撲滅の価値を証明しますと訴えてくれたからです。

2002年の1年間だけで93カ国5億人の子供たちにワクチンを届けました。2002年は私のガ

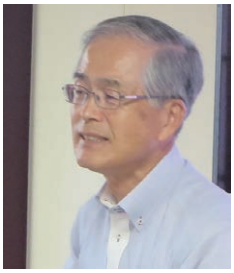
バナー年度であり 1988 年に続き２度目のポリオ募金の要請がありました。日本では一人 150 ドルが割り当てられましたが 2820 地区は１年で集めようと言うことでパストガバナー，ガバナー補佐，ロータリー財団地区委員が３人一組になり全クラブを準公式訪問していただきました。結果的に潮来 RC が３年分割払いという誓約でしたが残りは一括で納付され 2820 地区の財団への年次寄付は一人あたり 240 ドルを超え日本 35 地区で第１位となりました。全世界で 8000 万ドルの目標でしたが１億３千 500 万ドル集まりました。

2000 年 10 月 WHO は京都で会議を開き西太平洋地域 27 の国と領域をポリオフリーと宣言しました。2002 年には大西洋から中央アジアを含む欧州をポリオフリーとしました。ロータリーは当初 2005 年までにポリオ撲滅する目標を掲げましたが実現しませんでしたので改めて実現するまで続けると決定しています。また WHO の試算では 20 億ドルかかると言われ，さすがにロータリーだけでは手に負えなくなり，世界各国の政府に支援を要請しております。又ビル・メリンダ・ゲイツ財団はロータリアンも寄付する条件で，ロータリー財団に 2007 年 11 月１億ドル，2010 年２億５千 500 万ドルを寄付してくれました。現在私たちはポリオ基金 20 ドル以上を寄付していますが，これは 2013 年から 2018 年までロータリアンの寄付の倍額毎年３千 500 万ドルを限度として寄付するというゲイツ財団からの挑戦です。ポリオプラスについて簡単にご報告しました。

今宵ひととき同じ委員会の皆様と今年の抱負などを語らい楽しんで頂けましたら幸いです。

家庭集会の思いで

稲　本　修　一　職業奉仕委員



ただ今，片岡ＲＧがロータリーについて格調高いお話しをされましたので，私は私が入会した 34 年前のころの家庭集会の思い出をお話しします。片岡さんも言われましたように当時は「炉辺会合」と言っていまして，今のように大勢ではなく，委員会毎に委員長の家や，小料理屋などに集まって年間計画を話し合い且つ親睦を深める形式でした。そこには必ず会長・幹事が同席することが決められていて，同じ日に３つくらいの委員会を会長幹事は「はしご」をしたようなことがありました。当時は，会長幹事が同席していないとメーキャップにならないということで，そのころの会長幹事さんは大変だったろうと思います。

親睦と奉仕はロータリーの両輪ともいわれ，その点は，土浦南ＲＣは大変バランスがとれていたような気がします。青少年奉仕では，インターアクトクラブとローターアクトクラブを持っているクラブはこの地区では水戸クラブと土浦南だけです。インターアクトはクラブ創立５周年記念に出来，片岡ＰＧが地区のローターアクト委員長のときにローターアクトクラブを発足しました。

また，出席率の高いのもクラブの伝統となっています。それは年度の会長・幹事・ＳＡＡが例会を緊張をもってやっているからだと思います。ガバナー補佐の時に分区内のクラブを何回か訪問したり，卓話でよその分区のクラブに行ったりしますが，土浦南クラブは成熟したクラブと言えるでしょう。

ぜひともこの良き伝統を若い人達が引き継ぎ，さらに発展させていってもらいたいと思います。

稲野邉会長挨拶

乾杯　溝口直前会長

司会　今泉職業奉仕委員長